

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
PC各種アプリケーションの活用方法や社会人としての人間カスキルをオンデマンド授業を通して学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や卒業後も応用できるPCテクニック、社会人としての人間力を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	コンピュータ内部の理解／時間の使い方／タスク管理方法について／相手の心を掴むプレゼンテーション術／伝わるプレゼンの作り方／Google スライドだからできるワンランク上のプレゼン／Canva AIで手軽に資料作成					
【前期】 8～11回目	プロジェクトマネジャーの基本／Googleスプレッドシートで進捗管理する方法／Googleスプレッドシートでプロジェクト管理／Googleスプレッドシート基礎トレ-全自動カレンダー 編-					
【前期】 12～15回目	能動的に人生と仕事を動かす「タスク管理」／うまく回る「情報共有の仕組み」づくり 新入社員向けExcel術一表の見せ方&計算チェックー／最速のExcel術					
【後期】 16～24回目	“伝わる文章“の基本／簡潔なメール文への添削／ビジネスメールの書き方／「わかってるな」と思われる報連のしかた／Word による文書作成の基礎・知っておくべき段落書式・スタイル機能の基礎					
【後期】 25～31回目	議事録係の準備について／議事メモを制する者は会議を制す／議事メモから“シゴデキ議事録”へ／自分もチームも変える3つの視点／情報の収集・集計・分析をGoogle フォーム × Google スプレッドシートで自動化／瞬時に共有できるGoogle Keepでビジネスを加速しよう／Google サイで情報をひとまとめにして共有					
【後期】 32～38回目	「可愛がられる」は才能ではなくスキルである／大きな桁の掛け算・割り算のコツ／秒で完成-パワボスライド作成-／なぜ、私たちはPowerPoint資料を作るのか／名刺で学ぶCanvaとデザインの基本／Canvaプレゼンテーション活用術／アイデアを形にする企画整理					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	マーチャンダイジング論		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	マーチャンダイジング論	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
顧客に対してどのような関係性で、価値を創造し・伝え・届けるかを学び、お金の動きを学ぶ。						
到達目標						
エンタテインメント業界のビジネスの仕組みを理解し、顧客に対してどのような価値を与えるか？時代の価値に対応した考えを身につけることで、今後の音楽芸能業界に新しいエンタテインメントビジネスを生み出せる人材の育成						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕事:プロダクションとレコード会社の違い/各プロダクションによる違い マネージメント・ライブ制作/プロモーション					
【前期】 4～9回目	全国のイベンターについて/ライブ制作/プロダクションとの関わり レコード会社:役割・制作・宣伝・営業・販促					
【前期】 10～17回目	音楽出版社:業務内容/タイアップとの関連					
【後期】 18～22回目	ファンクラブの業務内容/マーチャンダイズの重要な収入源について					
【後期】 23～27回目	レコーディング/テクニカルについて					
【後期】 28～37回目	ライブ制作について/権利関係/アーティストプロフィール作成・発表					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デジタルマーケティング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	デジタルマーケティング	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学卒業後、アパレル業界にて販売業務に従事。接客・販売業務に加え、店舗でのブランド PR に携わる。 2022 年 12 月~現在 SNSマーケティング会社の取締役に就任。企業向けの SNS マーケティング支援事業を担当し、Instagram・TikTok などを中心としたSNS 運用支援、戦略設計、コンサルティングを行う。					
授業概要						
エンターテインメント業界に求められるデジタルスキル獲得を目的とする授業。YouTube、Twitterなど各SNSを基礎から学び、バズ・炎上を理解して戦略的なSNS運用ができるようデジタルマーケティング・配信・企画のプレゼンテーションを学修する。						
到達目標						
インフルエンサーレベルでのSNSの戦略的なノウハウやデジタルマーケティングスキルを身に付け、SNSをビジネスの場で活用できる人材。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	SNS: SNSの基礎知識 目的 SNS: YouTube YouTube基礎(理解、運用方法、バズ観点)					
【前期】 5～8回目	SNS: Twitter Twitter基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: Instagram Instagram基礎(理解、運用方法、バズ観点)					
【前期】 9～12回目	SNS: Tik Tok Tik Tok基礎(理解、運用方法、バズ観点) SNS: 炎上 & 誹謗中傷理解 対策検討(グループワーク)					
【前期】 13～19回目	デジタルマーケティング: デジタルマーケティングの基礎知識 デジタルマーケティング: ペルソナ分析、TAPS分析					
【後期】 20～24回目	デジタルマーケティング: 3C分析 デジタルマーケティング: マンダラチャート分析					
【後期】 24～29回目	デジタル配信: 音声配信(各サービス、運用方法、コツ) デジタル配信: ライブ映像配信(各サービス、運用方法、コツ)					
【後期】 29～33回目	ビジネススキル: ロジカルシンキング、プレゼンテーション デジタルマーケティング: カスタマージャーニーマップ分析					
【後期】 34～37回目	デジタルマーケティング: USP、SWOT分析、STP分析、自己分析 デジタルマーケティング: マーケティングフレームワーク分析					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	制作ワーク		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	制作ワーク		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	67回(134単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。					
授業概要						
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。						
到達目標						
マネージャーとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	基礎舞台用語(小テスト有) 予算書の作り方/セットリストの作り方/タイムテーブルの作り方/案内板等の作り方(小テスト有)					
【前期】 11～21回目	架空の企画のプレスト:情報収集/企画会議					
【前期】 22～32回目	架空の企画のプレストを元に、予算出し/宣伝プラン出し/演出案会議					
【後期】 33～43回目	プレストした企画をテーマに企画書・予算書を作成 企画制作:2月に企画ライブを実施する想定で企画会議					
【後期】 44～54回目	企画制作:2月に企画ライブを実施する想定で制作作業					
【後期】 55～67回目	企画制作:2月に企画ライブを実施する想定で制作作業 企画制作:精算書作成/あと片付け					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音楽理論		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	音楽理論		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大学にてクラシックピアノを学んだ後、ピアニストとして活動を開始。クラシック・ポピュラーミュージック・ジャズ等、ジャンルにとらわれず様々なレコーディングやライブに携わり、海外での演奏も行うなど精力的に活動中。				
授業概要					
五線譜を用意し、自ら音符を書き込む。五線譜に書いた音符を手拍子等でリズムを表現する。					
到達目標					
音楽の構成を理論的に分析、把握する技術の修得。楽譜の読み書きが出来る。					
授業計画・内容					
【前期/後期】 1～5回目	自己紹介とアンケート 音に関する基礎知識 Notation 楽譜に関する基礎知識 Notation 記譜法の復習、音符 etc. Notation + 速度、強弱 etc. 各記号等の説明				
【前期/後期】 6～10回目	今までの授業内容の復習 Major scale Ⅱ系のMajor scale Ⅲ系のMajor scale Major scale の調号とKey 復習＋試験対策 冬休み前に今までの復習				
【前期/後期】 11～15回目	今までの復習と試験対策 Major scale と minor scale etc. 試験返却の場合は解説と答え合せ 1/28 or 2/4 どちらかで試験返却				
【前期/後期】 15～20回目	音程とchord 学生へのアンケート etc. で都度決定 今までの授業内容の復習 曲を例に授業の復習 etc.				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	サウンドアナライズ		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	サウンドアナライズ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ベーンシストとして活躍する傍ら、楽曲研究を行い教育機関にて楽曲の分析や解説など授業を担当する。				
授業概要					
さまざまな年代、ジャンルの音楽について知識を深める。音楽の歴史背景だけでなく楽曲そのものにも触れていく。					
到達目標					
スタッフとしてアーティストの要望に対応するため音楽ジャンルの幅を広げる。					
授業計画・内容					
【前期/後期】 1～5回目	学生の簡単な知識や好みの把握 自己紹介タイムやアンケート、音楽について話すときに必要不可欠なワードなどを再確認				
【前期/後期】 6～10回目	学生の好みの曲の中から1.2曲ピックアップ やりやすそうな曲を題材にしどう分析していくかを説明。 音楽分析をしつつ、楽譜の読み方などもおさらい。				
【前期/後期】 11～15回目	講師ピックアップ曲を提示して授業 テストを視野に入れつつ音楽用語も				
【前期/後期】 15～20回目	後期テスト テスト振り返り等 総復習				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	音響概論		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	音響概論		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	商業用レコーディングスタジオに就職し、様々なアーティストのレコーディングに携わった後、フリーランスとして活躍。レコーディングエンジニアとして音楽だけでなく、ナレーション、アフレコ等、多岐に渡る仕事に携わっている。					
授業概要						
録音・ミックスの基礎知識(マイキング、ゲイン、エフェクト、MIDI等)を学び、実際の楽器や歌の録音・編集・ミックスを段階的に実習する。最終的に楽曲制作から書き出しまでの一連の制作工程を習得する。						
到達目標						
録音・編集・ミックスに関する基礎知識を理解し、マイキングやゲイン調整、各種エフェクトを適切に扱える能力を身につける。また、歌や楽器の録音、MIDI打ち込み、ミックス作業を通して、楽曲制作の一連の流れを実践的に遂行し、目的に応じた音づくりと最終書き出しができる能力を習得をする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	昨年のヒアリング:bitとSample/メーター/USB/マイキング/板書でドラムとアンプのマイキング ドラムを録ってみる:基本セットでゲイン感とフェイズ/リバーブとディレイ:種類					
【前期】 4～9回目	ゲインと音量:歌とカラオケを録ってみる:手順/カウンターを振る/ラインレベル・マイクレベル 歌を録ってみる:プレイリストとテイク管理/テイクの組み合わせ/歌の音量感と音程/クリップゲインとメロダイン					
【前期】 10～17回目	ギターを録ってみる:DIの音・マイクの音・歪み/Pan・音量・テイク切り替え イコライザーとは/コンプレッサーとは/ミックスとは/トータルの音量感・エフェクト・音圧上げ 自分達で歌を録ってみる:エンジニア・アシ・ディレクター/MIDIと打ち込み					
【後期】 18～22回目	打ち込みと応用/Gate・ディエッサー/動作原理・使い方/iZotope RX:RXの使い方 USBなど現代のデジタル接続					
【後期】 23～27回目	AIを用いた曲作り:使い方・自分用BGMを作ってみる 自分達で曲を録ってみる:ドラムをパラで録って素材集め/ドラムを組み立ててみる					
【後期】 28～37回目	自分達で曲を録ってみる:ベース・ギターの素材集め/キーボードなどをMIDIで打ち込み/歌の録音・素材集め/歌の音量・Pitch ミックス:曲に合った音量感・トータル音圧・書き出し					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージスタジオワーク		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	ステージスタジオワーク	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	67回(134単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	楽器レンタル会社に所属の後にフリーランスとして15年ほど活動。担当アーティストの楽器・機材のケア、またイベントなどでの現地楽器、リハーサル時などではPAまわりも担当。楽器の他に舞台監督としてアーティスト周年イベントなどでも活動。					
授業概要						
尺貫法や平台・箱馬の扱い方、楽器や周辺機材の知識・扱い方、各種セッティング等を学ぶ。						
到達目標						
コンサートスタッフとして必要な各楽器の基本的なセッティング、メンテナンス方法、ステージ全体の構成等のノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	授業概要について ドラム：太鼓・シンバルの種類・名称について、スタンドの組み立てとセット組み実践					
【前期】 11～21回目	ギター/アンプ：ギタースタンドの立て方、ギターの種類、ギターパーツについて、アンプについて、ワイヤレスについて エフェクター/楽器実技：ギター・ベース・ドラムのセッティング					
【前期】 22～32回目	ステージ：舞台用語・タイムテーブル、ジェスチャーについて、ステージプロット ステージ転換について、機材溜め場について、転換シミュレーション、アクティングエリアについて キーボード：スタンド・繋ぎ方・運び方など					
【後期】 33～43回目	ドラム：チューニング・ミュート・ヘッドの張り方 楽器実技：ギター・ベース・ドラム・キーボード					
【後期】 44～54回目	ギター・ベース：弦交換・チューニング、調整について					
【後期】 55～67回目	アンプ/エフェクター：アンプを繋いで音を出す（音作り）、エフェクターについて（種類・繋ぎ順）					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明概論		授業形態 / 必・選	講義	選択
	学則上表記	照明概論	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	照明会社に所属しライブハウス照明オペレーターとして活動したのちフリーランスとして活動。 主にバンドやアイドル等の音楽系イベントの照明オペレーターを担当。				
授業概要					
照明スタッフとして必要となる基礎知識や専門用語、歴史を習得し、現場対応へつながる土台を形成する。					
到達目標					
さまざまな会場・ホール・施設で照明業務を行う為の基礎知識の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	照明の仕事の種類:照明会社・フリーランス等 ライブハウス・ホール管理について				
【前期】 6～10回目	特効について/特効授業に向けて ムービング卓・ムービングライトの種類・会社				
【前期】 11～15回目	DMXの歴史・DMXの応用 デジタル機材の歴史と価格/仮設照明について/電源ケーブル作成				
【前期】 15～20回目	照明会社についてor機材販売会社について 電源ケーブル作成 12号機材について				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	色彩講座		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	色彩講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	照明コース/音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テレビ番組制作関連業務などを経て、2006 年から店舗ディスプレイ業務に従事。その経験を活かし、企業や専門学校でディスプレイと色彩講師を務める。また、企業向けに販売促進のための色彩活用セミナーを実施。商業施設や小売店の売り場づくりのカラーコンサルティングにも携わる。					
授業概要						
照明・映像・デザインといった専攻科目に共通して必要な色彩知識について学ぶ。						
到達目標						
色彩検定3級の取得を目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	【色を活用するための基礎知識】トーンの仕組みを理解する。トーンの種類と分類、色の表示方法					
【前期】 5～8回目	【色彩心理】色の心理的効果/インテリアにおける色の心理的効果/色の連想と象徴/色相と関係する配色イメージ 【光と色】色はなぜ見えるのか/照明と色の見え方/目のしくみ/混色					
【前期】 9～12回目	【検定対策】検定問題の傾向と解き方、模擬試験					
【前期】 13～19回目	【パーソナルカラー】基礎知識、自分の色素を知る。 似合う色をドレーピングで知る。パーソナルカラーの取り入れ方					
【後期】 20～24回目	【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】CUDの基礎知識/職場の安全に役立つ色の使い方/色を見分けやすくするポイント					
【後期】 24～29回目	【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】色覚の多様性に対応する/カラープランニングの方法					
【後期】 29～33回目	【ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコーデ&デザイン					
【後期】 34～37回目	販促物や掲示物のカラーコーディネート デザインソフトを使用したフライヤー作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像メディア研究		授業形態 / 必・選	講義	選択	
	学則上表記	映像メディア研究		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	67回(134単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。					
授業概要						
ミュージック・ビデオ、映画、CM、ドラマ、バラエティーなど様々な映像メディアを研究し、優れた作品、人をひきつける作品とはどういうものであるかを研究する授業。						
到達目標						
数多くの作品を見、解析することで審美眼を養うと共に、なぜその作品が良いのかを伝えられるようになる。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	映像研究について/映像視聴、ディスカッション/カメラについて(焦点距離・被写界深度)					
【前期】 11～21回目	メディア研究①概論:どのようなメディアがあるのか考えさせ、今後の研究対象を洗い出す。 メディア研究②MV、ライブビデオ					
【前期】 22～32回目	メディア研究③映画					
【後期】 33～43回目	メディア研究④CM ⑤ドラマ					
【後期】 44～54回目	メディア研究⑥バラエティー メディア研究⑦ネット動画					
【後期】 55～67回目	2025年、私的アワード選定～発表					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクション実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	プロダクション実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	88回(176単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
アーティストの協力の元、ライブ制作、CD制作、ミュージックビデオ制作、プロモーションなど、プロダクションやレコード会社で行う一連の流れを学ぶ。						
到達目標						
プロダクションにおける業務の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	年間実習予定について 年間プランニング					
【前期】 5～25回目	選曲会/レコーディング準備/ビジュアルプランニング					
【前期】 26～44回目	野方ライブ準備・本番/撮影準備/MV制作					
【後期】 45～48回目	スタフェス準備・本番					
【後期】 49～69回目	企画ライブ準備・本番/リリース書類作成 アタックリストの作成/CDショップ宣伝					
【後期】 70～88回目	レコ発準備・本番/店頭周り/1年間の総括					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	プロダクションデザイン実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	プロダクションデザイン実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	73回(146単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン学校を卒業後、メディアマーケティング会社に入社。丸井の広告や麒麟ビバレッジの商品デザインロゴを制作。退職後は個人事務所を設立。全日空、日立建機、法務省、明治乳業など数多くの広告 SP 案件を手がける。					
授業概要						
フライヤー制作や、グッズ制作などにファンクラブ運営に役立つデザイン知識を学ぶと共に、見積の取り方や、入稿作業等についての知識・ノウハウの習得する。						
プロダクションスタッフとしてのデザインやビジネススキルの修得。						
【前期】 1～10回目	フライヤーのデザイン・色について/フライヤー資料収集 フライヤーサイズ決定/サムネイル&ラフ /素材					
【前期】 11～21回目	フライヤー作成:デザインチェック・修正・校正(必ず出力して確認) フライヤー仕上がり(出力、裁断)					
【前期】 22～34回目	フライヤー搬入/フライヤー配布しての分析 告知ポスターやツール類の作成/印刷データの作り方復習・確認					
【後期】 35～43回目	次回の企イベントへ向けてのアイデア出し 告知ツール全ての校正					
【後期】 44～54回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (アーティストグッズ制作企画 ・見積 ・デザイン ・発注 ・納品確認等)					
【後期】 55～73回目	プロダクション実習にて決定した企画・ライブに向けたデザイン制作 (CDリリース販促物制作立案 ・取材 ・誌面制作 ・入稿 ・入稿確認等)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	メディア制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	メディア制作実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	88回(176単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	イベント総合プロデュース会社で映像制作を中心とした業務に関わる。一方で個人でも映像制作を請け負い、ミュージックビデオをはじめ、幅広いジャンルのコンテンツを手掛ける。					
授業概要						
映像を中心としたアーティストのコンテンツを企画・制作すると共に、マーケティング手法について学習する。						
到達目標						
アーティストのプロモーション等につながる企画力の向上、またそれらを世の中に広めるノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	Aeを活用したアイキャッチ制作 田一ショングラフィックスを用いたロゴアニメーション、バナー制作 マーケティング基礎：SNSを利用したマーケティングについて/実際のアーティストで分析してみる					
【前期】 5～25回目	マーケティング基礎：動画制作(動画デザインについて/仮想イベント宣伝動画(30秒)作成)					
【前期】 26～44回目	イベント告知動画作成実習 野方イベント、スタフェス、に向けてのプロモーション動画作成 ティーザー・ショート プロモーション動画企画制作実習					
【後期】 45～48回目	ティーザー・ショートプロモーション動画企画制作実習 企画ライブ、リリース告知動画作成					
【後期】 49～69回目	フィードバックと改善案の策定 プロモーション動画企画制作実習：レコ発ライブ、リリース告知動画作成					
【後期】 70～88回目	アーティスト宣伝動画作成 データ整理プロモーション動画/企画制作					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PA実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	PA実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	ライブハウスからドームクラスまで、様々な規模のPAオペレーターを経験。自身の会社も立ち上げ、後進の指導などマルチな活動を行っている。					
授業概要						
ライブホールの機材を使い、セッティング、チェック、スピーカーチューニング、PAオペレーターなどの作業を学ぶ。						
到達目標						
仕込みから本番までのPAに関するオペレーターのノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～14回目	11号機材電源等説明と使い方:音響電源/ミキサー/アンプ等の電源の入れ方/マイク等の説明 DrマイクSET/ステージ上のDRIにマイクを立てて音出し					
【前期】 15～28回目	3人バンドのマイクSET UP/簡単なバンド編成の回線表を作りステージを仕込む 4人バンドのマイクのSET UP/簡単なバンド編成の回線表を作りステージを仕込む					
【前期】 29～42回目	MON SPを組み、チューニングMonチューニング/バンド回線を作りINPUT Mon チューニング 実習ライブに向けての準備:回線表を作り、ステージINPUT モニターチューニング					
【後期】 43～56回目	バンド回線を作りINPUT Mon チューニング MON卓を組む:VO MICをMON卓から返す/回線表を作る/BAND回線でのMON卓を組む					
【後期】 57～70回目	11号館でのメインチューニング:ipadを使用してステージMIXでのmonチューニング 2NP実習企画ライブ準備・本番:バンド回線の仕込み、転換等の確認					
【後期】 71～84回目	2NP実習企画ライブ準備 1年間の知識を踏まえてバンド回線を作る、INPUT MONなどを仕込みチューニングをやる					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	レコーディング実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	レコーディング実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コロムビアスタジオにてアシスタントを経験し、サウンドスカイスタジオに移籍。その後トーンマイスターにて専属エンジニアとなる。1999年よりフリーランスとなりレコーディングエンジニア、PAエンジニアとして活躍中。					
授業概要						
実際にアーティストのレコーディング～MIX～マスタリングまでの工程を学ぶ。						
到達目標						
レコーディング現場に於ける音響技術の習得						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック。・PTのセッション作り、CLICK作り。パンチン、パンチアウトの練習(クラブをダビングしてみる)・バンド用に種類を増やしてマイクの説明 Band RECのセッティング。・クイックパンチ、プレイリスト					
【前期】 6～10回目	さまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ マイク、セッティングをいろいろ変えてProtoolsに録って聴き比べ→自分なりのデフォルトが作ることを目標に					
【前期】 11～22回目	本館2F Studioのシステムを憶える。機材の名称、用途、操作方法を学ぶ。 電源のON/OFF・機材(SSL卓,Avid PRE,Comp etc)・信号の流れ・Gtのマイクセッティング・Protools内ミックス・CueBoxへの送り					
【前期】 23～36回目	バンドレコーディング実習①: プリプロ～Basic～ダビング					
【後期】 37～48回目	バンドレコーディング実習①:ミックス～マスタリング(TEMAS MASTERING)					
【後期】 49～56回目	マイク、セッティングをいろいろ変えてProtoolsに録って聴き比べ→自分なりのデフォルトが作ることを目標にさまざまなマイクの音、セッティングを学ぶ Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック(レベルどり)を繰り返して身につける					
【後期】 57～66回目	バンドレコーディング実習②: Basic REC～Over Dubbing～Vo Dubbing & Mivdown Band RECのセッティング～回線チェック～マイクセット～サウンドチェック(レベルどり)を繰り返して身につける					
【後期】 67～74回目	バンドレコーディング実習③: Basic REC～Over Dubbing～Vo Dubbing & Mivdown					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	半田製作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	半田製作実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	44回(88単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
はんだ付けの基礎知識と安全な作業方法を学び、ケーブル製作を中心に実践的な加工技術を習得する。 段階的に応用製作や回路部品の理解を深め、最終的には電子部品やケーブルの製作を主体的に行える技能を養う。						
到達目標						
はんだ付けに関する基礎知識と工具の正しい扱い方を理解し、各種ケーブル(TS/TRS/XLR)の製作が正確に行える能力を身につける。 回路部品の基礎的な役割を理解したうえで、応用的な製作や加工に対応し、実習課題を通して安定した品質で製作を遂行できる能力を習得する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	授業説明:注意事項/教室・掃除の説明/工具箱の確認 製作基礎:道具の説明/ハンダの基礎知識/4E6Sケーブル剥き/リード線のラグ板ハンダ付け/4E6Sケーブル剥き⇒ラグ板ハンダ付け/4E6Sケーブル剥き(バランス・アンバラ)・コーティング					
【前期】 9～18回目	製作基礎:TS/TRS説明・GS6ケーブル剥き、コーティング/GS6ケーブル剥き・TS-TS製作/4E6Sケーブル剥き・TRS-TRS製作/キャノンコネクタ説明・マイクケーブル製作・XLR(メス/オス)ハンダ付け製作					
【前期】 19～20回目	製作応用:反復練習・TS(2回)・XLR(2回)・ITT説明/XLR(メス/オス)ハンダ付け製作					
【後期】 21～28回目	製作応用:[変換ケーブル]XLR、TS、TRS (L字プラグ)/逆相ケーブル・XLR(メス/オス)					
【後期】 29～34回目	製作実習発展[ミニ・グランドピアノ 製作]各種パーツ:抵抗、コンデンサ、IC、スイッチ、スピーカーなど、回路を構成するための部品の説明、コンデンサ、IC・はんだ付け練習/製作実習(ピアノ)					
【後期】 34～44回目	製作実習発展製作実習(ケーブル)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	Pro Tools実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	Pro Tools実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	44回(88単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
PC画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。						
到達目標						
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	DAW関連について(Pro Toolsについて/音の仕組み) Pro Toolsの基本(Pro Toolsについて(録音～ミックス～MAの流れ)ファイル構成)					
【前期】 5～8回目	Pro Toolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 9～16回目	Pro Toolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 16～20回目	Pro Toolsの基本的な操作 (オーディオ編集の操作方法/ヴォーカル編集_Reverb操作応用・リズム・タイミング)					
【後期】 21～26回目	Pro Toolsの実践的な操作(EQ/コンプ/エフェクターについて/ミックスバランスについて/マキシマイザーについて(Sound Pressure Level))					
【後期】 27～34回目	Pro Toolsの実践的な操作(オートメーションについて/ライブミックス作業もしくはMA作業)					
【後期】 35～40回目	Pro Toolsの応用的な操作(パウンス方法について(Wav / mp3)/ミックス作業)					
【後期】 41～44回目	Pro Toolsの応用的な操作(ミックス作業)					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	照明実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	照明実習		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	88回(176単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	照明会社に所属しライブハウス照明オペレーターとして活動したのちフリーランスとして活動。 主にバンドやアイドル等の音楽系イベントの照明オペレータを担当。					
授業概要						
照明のプランニングからオペレートまでを理論的かつ実践的に学ぶ。						
到達目標						
照明プランニングとホールでの仕込み、本番でのオペレータのノウハウの習得し、照明の原理原則を理解している。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	11号ホールのルール/安全講習/11号電源周り・設備まわりの説明 トラス・バトン昇降時の注意喚起／照明機材を学ぶ:一般灯体の復習/LED Parの扱い方					
【前期】 5～25回目	PINSPO Tを学ぶ:仕込み方～準備・操作方法操作実習 調光卓を学ぶ:PINSPO T実習/Patch復習・一般灯体の打ち込み/Chase/LED Parの打ち込み					
【前期】 26～44回目	仕込み:一般灯体を使用した仕込み実習→仮ライブ実習 照明機材を学ぶ:ムービングライト／調光卓を学ぶ:ムービングの操作方法/ムービングを使用した打ち込み					
【後期】 45～48回目	スタフェス準備/本番 仕込み/PIN					
【後期】 49～69回目	仕込み/PINor卓 実習ライブ対応					
【後期】 70～88回目	2月実習ライブ対応					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	映像制作実習		授業形態 / 必・選	実習	選択	
	学則上表記	映像制作実習	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	映像制作、編集、映像オペレーターやVJなど、映像のオールラウンダー。最近では舞台映像や簡単なマッピングも制作。自身がVJとして所属するバンドでは企画から編集までオールセルフプロデュースのMVも制作。					
授業概要						
ミュージックビデオ制作を中心に映像制作のプランニングから撮影、編集までの一連の流れについて学ぶ						
到達目標						
Adobe社のPremireやAfterEffectsといったソフトを用いた基礎的な編集技術およびミュージックビデオ制作のノウハウの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～14回目	年間計画説明/MV企画の立て方 模擬制作実習:講師主導で企画～ワンシーン撮影～編集/企画の立て方、打ち合わせ練習/企画構成、演出、資料作成/担当分担/企画制作/香盤表、スケジュール作成、カメラリハ等/準備、撮影～編集					
【前期】 15～30回目	模擬制作実習:編集 MV制作実習:映像メディア研究/カメラ設定、企画についての座学/MV企画、声優芸能科・協力アーティストとの内容打ち合わせ・修正/各種資料作成、機材準備、各所アポイント					
【前期】 31～42回目	イベントライブ配信練習:ライブ配信のセッティング/撮影、スイッチ、カメラワークの練習 前期試験					
【後期】 43～58回目	CLUB CITTAライブ撮影練習:ライブ撮影の機材セッティング/スイッチ、カメラワーク等カメラ技術練習					
【後期】 59～70回目	MV制作実習:撮影、データ整理、素材準備/オフライン編集 MV制作実習:オンライン編集/MV修正					
【後期】 71～84回目	卒業制作:自分たちで全て企画制作して映像作品を作成し視聴会 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	デザインPC実習		授業形態 / 必・選	実習	選択
	学則上表記	デザインPC実習		年次	2年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	CMリサーチ、DTPオペレーター、雑誌デザインなど様々な職種を経て、フリーランスに。ライター、マネジメント、イベント運営など、幅広く業務を行っている。				
授業概要					
デザイン制作に必要なPCスキルおよび基礎技術を通して、実際の制作実習を通じて実践的なデザインを学習する。					
到達目標					
デザインの基礎知識・技術を学び、グッズ制作等の成果物に結び付けると共に、就職後を見据え、わからない技術を自分で調べる術を身につけることを目標とする。					
授業計画・内容					
【前期】 1～12回目	授業ガイダンス ビジネスPCスキル①:授業の説明と、ビジネスメールの書き方、タイピング、ショートカット、TO、CC、BCCについて等、ビジネス関連のPCスキルについて				
【前期】 13～26回目	ビジネスPCスキル②ビジネスメールの書き方、タイピング、ショートカット、TO、CC、BCCについて等、ビジネス関連のPCスキルについて				
【前期】 27～36回目	ビジネスPCスキル③上記に加えPCスキルの履歴書への記述について				
【後期】 37～44回目	デザイン課題ⅢIllustratorとPhotoshopを中心とした課題に毎回取り組む。単なるアプリのスキル向上だけでなくデザインのスキルも学びつつ、作品はポートフォリオとして就活で使える水準を目指す				
【後期】 45～58回目	グループ課題授業参加者全員でワンチームとなってテーマに沿った作品を作る。 WEB関連課題WEB関連の制作物を、デザインの観点を入れつつ作る				
【後期】 59～74回目	総合課題制作これまでの総決算となる課題に取り組む				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					